

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回北警察署協議会（定例会）																														
日 時 ・ 場 所	<p>令和6年2月16日（金） 午後4時00分から午後5時50分までの間</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>北警察署講堂</p>																														
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">西野 博</td> <td style="width: 33%;">会長</td> <td style="width: 33%;">中野 裕美</td> <td>副会長</td> </tr> <tr> <td>大岩 みつ子</td> <td>委員</td> <td>太田垣 建</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>山田 浩司</td> <td>委員</td> <td>丹羽 忍</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>加藤 祐二</td> <td>委員</td> <td>柘植 好美</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>近藤 大輔</td> <td>委員</td> <td>刘 月歆</td> <td>委員</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上10名（定数12名）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">齊木 署長</td> <td style="width: 50%;">玉田 副署長</td> </tr> <tr> <td>服部 警務課長</td> <td>福田 会計課長</td> </tr> <tr> <td>水野 生活安全課長</td> <td>長谷 刑事課長</td> </tr> <tr> <td>芦田 交通課長</td> <td>道家 警備課長</td> </tr> <tr> <td>伊藤 地域課長代理</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>3 有識者等 なし</p>	西野 博	会長	中野 裕美	副会長	大岩 みつ子	委員	太田垣 建	委員	山田 浩司	委員	丹羽 忍	委員	加藤 祐二	委員	柘植 好美	委員	近藤 大輔	委員	刘 月歆	委員	齊木 署長	玉田 副署長	服部 警務課長	福田 会計課長	水野 生活安全課長	長谷 刑事課長	芦田 交通課長	道家 警備課長	伊藤 地域課長代理	
西野 博	会長	中野 裕美	副会長																												
大岩 みつ子	委員	太田垣 建	委員																												
山田 浩司	委員	丹羽 忍	委員																												
加藤 祐二	委員	柘植 好美	委員																												
近藤 大輔	委員	刘 月歆	委員																												
齊木 署長	玉田 副署長																														
服部 警務課長	福田 会計課長																														
水野 生活安全課長	長谷 刑事課長																														
芦田 交通課長	道家 警備課長																														
伊藤 地域課長代理																															
諮 問 事 項 等	自転車盗対策																														
答 申 等 の 概 要	<p>1 施錠意識の向上（広報啓発活動の強化）</p> <p>2 犯罪行為であることを認識させる（パトロールの強化）</p> <p>3 GPSデモンストレーション等の企画（ポスター、シール、鍵等の配布や防犯カメラ設置等の補助）</p>																														
そ の 他	次回、開催予定は令和6年5月中旬																														

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状交付
	再任1名及び新任4名の委員に委嘱状を交付した。
2	署長挨拶及び署幹部紹介
3	会長の互選及び副会長の指名
	西野委員が会長に選出され、西野会長は、中野委員を副会長に指名した。
4	会長・副会長挨拶、委員自己紹介
5	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（令和6年1月末現在）
	(2) 管内の交通事故発生状況（令和6年1月末現在）
6	前回の答申に対する取組結果等
	(1) 諮問事項
	交通弱者に対する交通事故抑止対策
	(2) 答申
	ア 子供や高齢者に加えて、運転手に対しての「交通安全教育」をより一層充実させること
	イ 道路標識や道路標示を見やすく工夫すること
	(3) 答申アに対する取組結果等
	ア 子供に対する交通安全教育の実施
	管内の幼稚園の園児に対して、横断歩道を横断する際の注意点等について交通講話を行うとともに、実際の道路において手を挙げて横断させるなど、基本的な交通ルール理解と浸透に努めた。また、小学3年生を対象とした自転車安全教室を開催し、受講者に自転車講習修了証を交
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
付することを検討している。	
イ	高齢者に対する交通安全教育の実施
管内の集合住宅の集会場において、老人会の会員を対象とした交通安全教室を開催し、高齢者の事故発生状況のほか、反射材の重要性について説明した。また、管内の高齢者に対して、関連団体から寄贈された蛍光手袋を配布し、歩行中の交通事故防止を促した。	
ウ	タクシー運転手に対する交通安全教育の実施
管内のタクシー会社の従業員に対する交通安全教育を実施し、タクシー運転手としてより一層の交通ルールを徹底し模範運転を励行するよう依頼した。	
エ	その他
技能実習生（インドネシア、ベトナム、ミャンマー）に対して、自転車乗車時における交通ルールを指導するため、交通安全教室を開催し、左側通行や一時停止の重要性について理解させ浸透を図った。	
(4) 答申イに対する取組結果等	
ア	道路管理者と連携した交差点対策（黒川交差点）
北区内の中でも特に人、車両の往来が多い黒川交差点に対する安全対策として、『自転車事故多発地点！』等を記載した案内看板を設置したほか、車両の速度抑制を促すエスコートマークを設置した。また、横断歩道の標示や標識を見やすくするための補修を行い、事故防止を図った。	
イ	一灯点滅信号機における交通対策の推進
一灯点滅信号機は、災害や停電時に交通規制を実施できなかつたり、	
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
<p>夜間の視認性に対する優位性が薄れてきている等の理由から、全国的に廃止が進められていることから、北区内に設置されている一灯点滅信号機2機を廃止し、高輝度一時停止標識（LED）及びイメージランプや『交差点注意』の標示等を行った。</p>	
7 諮問	
(1) 諮問事項	
自転車盗対策	
(2) 諮問事項の設定理由	
<p>自転車盗は、青少年が犯罪に手を染めるきっかけになる犯罪とも言われ、自転車盗の多発は、県民の体感治安を悪化させる要因となるので、自転車盗対策は喫緊の課題と言える。</p>	
<p>当署では、自転車盗対策として、被害発生の多発する駐輪場等への防犯カメラ及び防犯プレートによる犯罪抑止効果を高めることや、自転車盗被害の発生状況を分析して発生時間や場所を選定し、対象者に狙いを定めた広報活動を実施して被害防止に努めているところであるが、各協議会委員の皆様からの御意見を伺いたく諮問事項とした。</p>	
8 諮問事項に対する意見	
<p>委員 ・ 近所でも、自宅から盗まれたという話を耳にします。自宅でも忘れずに鍵かけの広報をすることが大切だと思う。</p>	
<p>委員 ・ 被害に遭う自転車のほとんどが無施錠ということなので、自転車利用者の施錠意識を高めないと被害は減らない。まずは、鍵かけのキャンペーンなどを実施して鍵の無料配布を行ってはどうか。</p>	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ 自転車盗も窃盗に違いないのだが、罪の意識が低いのではないかと 思われるので、印象に残る標語をつくって、犯罪であることをア ピールするべきではないか。
委員	・ 自転車も安価なものから高価なものまで様々で、安価なものは盗 まれたらまた安いものを買えばいいと思い、施錠意識が高まらない のだと思う。販売店の協力を得て、固定錠とワイヤー式の補助錠を 販売時に配布してもらうことはできないだろうか。
委員	・ 自転車の防犯用品として、GPSを利用したものがあるようだ。 盗難にあってもGPSで今どこにあるのか、現在位置がわかれば犯 人を捕まえることができるかもしれない。また、被害回復が期待で きることから、こうした防犯用品を紹介して利用者を増やすことも 効果があるのではないか。
委員	・ 他の県警のホームページには、GPSステッカーをプレゼントす るという企画が掲載されていた。GPSが取り付けであることを明 示すれば盗難防止になると思うので、同様のステッカーを作成して 自転車利用者に配って見たらどうか。
委員	・ 高額な自転車を転売目的で盗む職業的な窃盗犯も存在するという ことなので、高価な自転車にこそGPS防犯装置の装着を進める べきだ。自治体や企業に働きかけて補助金が出たりキャンペーン価 格などがあれば利用が増えると思う。
委員	・ パトロールを強化して、自転車泥棒を捕まえてもらうことが一番 の防犯で、組織的な自転車盗グループがいるのならマスコミに取材
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
を依頼し、逮捕時には報道発表するなど、自転車盗の現状を世間に知ってもらうことが大切である。	
委員	・ 被害の発生状況を分析して、多発場所には防犯カメラの設置を促したり、警告看板を設置するなどの注意喚起を継続実施するしかないと思う。
委員	・ 仕掛学を取り付けたことで盗難被害が8割減少したと聞き、すばらしい効果があるのだと感じた。仕掛学をもっと活用することで、どれくらい被害を減らせるのか、引き続き仕掛学の効果を検証してもらいたい。
委員	・ 北区は自転車利用者が多い街だと感じている。自転車盗は安易な犯罪なので、それだけに件数も多いと思うが、やはり防犯の基本である鍵掛けの励行と防犯グッズの紹介、ポスターやチラシなどで防犯意識を高めることが大切だと思う。
委員	・ 日本は治安のいい国だから、自転車に鍵をかけていなくても盗まれないと思う外国人は多い。自転車利用者が危機意識を持つよう心配するような広報も大切である。
9 答申	
(1) 施錠意識の向上（広報啓発活動の強化）	
(2) 犯罪行為であることを認識させる（パトロールの強化）	
(3) GPSデモンストレーション等の企画（ポスター、シール、鍵等の配布や防犯カメラ設置等の補助）	
10 その他	
	記録者 警務係長

